

令和5年度 第2回札幌市入札・契約等審議委員会の審議概要

1 開催日時

令和6年1月11日（木） 10:00～12:00

2 開催場所

札幌市役所本庁舎14階 入札室

3 出席者

(1) 委員

中川委員長、杉浦委員、西村委員、松村委員、山上委員

(2) 札幌市職員

税務・契約管理担当局長、財政局管財部長、財政局工事管理室長、財政局契約管理課長、財政局工事契約担当課長、財政局技術管理課長、財政局建築設備検査担当課長、交通局総務課長、水道局総務課長、病院局経営企画課長、他10名

4 次第

(1) 開会

(2) 報告事項

工事等発注状況について（令和5年度10月末）

(3) 審議事項

抽出工事等の決定・審議

(4) その他

総合評価落札方式の本格実施について

(5) 閉会

5 審議概要

(1) 事務局からの報告

【委員】 工事の随意契約で件数が減少しているが、金額が増加しているのは何故か。

【札幌市】 特定随意契約において金額が増加している。特定随意契約は

すでに先行している工事に附帯して工事を行う場合等に行われることがあるが、そのような工事の金額が昨年より大きかったと考えている。

【委員】 特定随意契約を行うことによって、金額の面で本当に市にとってプラスになっているのか。

【札幌市】 既に行っている工事に附帯した工事を例に挙げると、現場事務所の立ち上げ等カットできるところを積算から除くことができるため、費用の圧縮が見込まれる。

【委員】 地質調査業務のくじ引き発生割合が100%なのは何故か。

【札幌市】 業務価格は単価の公開等により最低制限価格の推測が容易であることに加え、地質調査業務は平均入札参加者数が多いことからくじ引きが発生しやすい状況である。

【委員】 制限付一般競争入札の減少額の内訳について、成績重視型及び総合評価の減少の割合が高くなっているのは何故か。

【札幌市】 発注予定件数は前年度と比較して大きく変わらないため、10月末段階においては前年度と比較して少なくなっている状況であると考えている。

(2) 審議事項（抽出工事等の決定・審議）

【委員】 市況連動型失格判断基準適用工事においては、予定価格付近での入札はどの程度失格判断基準に影響するのか。

【札幌市】 予定価格付近での入札が1者程度と少なく、その他の入札が従来の最低制限価格に近い金額である場合に、失格判断基準が従来の最低制限価格未満になることがある。これは入札価格の平均である調査基準価格が従来の最低制限価格に近いこと及び入札価格のばらつきが大きくなり失格判断基準が大きくなって下がるということが影響している。

【委員】 入札価格の分布が正規分布になってうまくいっているように見えるものもあれば、最低制限価格付近と予定価格付近で分布が2山になってしまっているものもある。正規分布ではないものに正規分布が前提の統計的な処理をすることにより、失格判断基準が従来の最低制限価格を下回る現象が起きていると考えられる。

【委員】 市況連動型失格判断基準適用工事においてもくじ引きが発生し

ているものがあるのは何故か。

【札幌市】 推測だが、入札価格を計算した際に1万円単位等を切り捨てた金額がたまたま一致したものと思われる。

【委員】 市況連動型失格判断基準適用工事を長期的に続けていくと、徐々に予定価格の入札が減少し、希望価格での入札が増える可能性はないか。

【札幌市】 落札の可能性を上げるために過去の結果を分析し、落札できそうな価格での入札が増える可能性があるが、落札できそうな価格と受注希望金額が乖離していないとは言い切れないと考えている。また、落札結果の早期収集のために予定価格付近で入札する可能性があることを想定すると、予定価格での入札がゼロになるとは限らない。

【委員】 市況連動型失格判断基準の今後についてどう考えているか。

【札幌市】 失格判断基準が従来の最低制限価格を下回る場合があること及び入札価格の二極化のように入札価格が相場価格を正しく反映していない可能性があることの2点が課題として見えてきたと認識している。来年度の試行の中で、業界や入札者に対して入札金額の決定過程について調査を行い、分析、検証していく必要があると考えている。

(3) その他（総合評価落札方式の本格実施について）

【委員】 調査基準価格率はどのように決まるのか。

【札幌市】 最低制限価格と同様、直接工事費や共通仮設費等に所定の係数を乗算している。計算式は公表している。